



地域活性化シンポジウム in 伊達2010を開催しました!!

詳細／企画課企画調整係（市役所 2階 ☎23-3331内線212・213）

10月21日(木)、だて歴史の杜カルチャーセンターで、「地域活性化シンポジウム in 伊達2010」を開催しました。当日は平日にも関わらず多くの市民の皆さまのご参加をいただき、盛会のうちにシンポジウムを終了することができました。心より深く感謝申し上げます。

シンポジウムは「食」による地域活性化をテーマに講演会の他、室蘭工業大学の学生サークル「PAネットワーク」による研究成果の発表、分科会の構成で実施しました。

講演会では十勝管内浦幌町在住で地域プロデューサーの近江正隆さんが「食が地方を元気にする」、北見で建設業からハーブ栽培へ参入した舟山秀太郎さんが「異業種からの農業参入」、大阪近鉄百貨店でインターネット事業を担当する辻本法子さんが「食のインターネットビジネス最前線」を演題に、現場での経験に基づく示唆に富んだ講話をいただきました。

室工大生からは「伊達産品販促チャレンジ」と題して、伊達産野菜の詰め合わせをインターネットを通じて売り出す方法が報告された他、課題についてなど研究成果が発表されました。

分科会は今回特別協力をいただいた法政大学・室蘭工業大学の教授陣にコーディネーターを務めていただき、講師との対談、参加者との意見交換を行いました。意見交換では参加者から具体的な問題に則した質問やアドバイスを求める声が出るなど、活発な議論が行われました。

シンポジウム開催に際してご後援、ご協力をいただきました関係各位にはこの場を借りて厚くお礼申し上げますとともに、引き続き食による地域振興・産業振興を図るべく各種施策を推進してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「食のインターネット・ビジネス最前線」では科学的なアプローチでインターネットビジネスの現状や課題、事例について講演いただきました。



室工大生からは伊達産野菜を独自のデザインが施された「伊達箱」に入れてインターネット上で販売することが提案されました。



各分科会では講師とコーディネーターによる対談と参加者との活発な議論・意見交換が行われました。



会場には事例研究としてインターネット上で売れ行きが良いとされる各地の特産品を展示しました。



シンポジウム終了後の交流懇親会では、講師・コーディネーターと参加者が交流を深め、室工大生からは展示した特産品の解説がありました。

冬期間の除雪と通行止めに ご協力ください

* 詳細 * 建設課管理係 (市役所 3 階 ☎23-3331 内線 363 ~ 365) 大滝総合支所産業建設課 (☎68-6111)
* 道道に関する問い合わせ先 * 胆振総合振興局室蘭建設管理部洞爺出張所 (☎76-2111)

除雪についてのお知らせ

今年もまた、冬の季節が近づいてきました。市道の除雪につきましては、従来どおり実施してまいります。効率的な除雪作業を行うため、下記の内容につきまして、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、除雪に関してお気づきの点がありましたら、詳細までご連絡ください。

路上駐車などはやめましょう

路上駐車は作業を遅らせたり、通行の妨げになり作業ができない場合があります。

看板なども路上に置かないよう注意してください。

道路からご家庭までの除雪にご協力を

除雪車が通った後は、玄関先に雪が残ります。短時間で広範囲を一齐に除雪する必要があり、玄関先まで手が回りませんので、各自で除雪をお願いします。

車道へ雪を出さないで

車道へ雪を出すと、道路がでこぼこになったりして交通事故や道路障害の原因となり、非常に危険ですので、車道への雪出しはやめましょう。

深夜早朝作業にご協力を

通勤・通学の時間帯までに除雪を完了させるため、深夜・早朝に作業を行う場合があります。



路上駐車禁止
にご協力ください。



除雪車などには近寄らない
でください。



車道へ雪を
出さないでください。



道路から家庭までの除雪に
ご協力ください。



道路の適正な使用にご協力
ください。



子どものそり遊びなど
による飛び出しは危険です。

道路を広く除雪できるよう車の放置はやめましょう。
みんなで歩道の除雪に協力し道路を広く使いましょう。



冬期間通行止め

急こう配で凍結すると危険な市道 2 路線 (松ヶ枝通り線の一部、向坂線全線) を 12 月上旬から来年 3 月 31 日 (予定) まで通行止めいたします。



雪捨て場・通行止区間

昨年と同じく長流川河川敷となっています。案内標識を設置していますので、指示に従って捨ててください。

雪捨て場以外の河川に雪を不法投棄する方がいますが、事故や災害の原因となりますので絶対にやめましょう。

通行止区間



雪捨て場・通行止区間

